

デクラスは何時始まるのか ⑥ 2月25日

デクラスは何時始まるのか？ 実行の指令を出すのは銀河連合だと思っています。

1月に始まる可能性もあって思っていたのですが、もう2月になってしまいました。

銀河連合は、米軍やアライアンスがディープステートの反撃力を弱め、トランプ大統領と米軍の決起の際に、出来るだけ世界の多くの人民が、ディープステートからの被害を受けなくできるタイミングを待っているようです。

米軍は17ヶ国の軍隊と連携している宇宙軍や海兵隊が、裏で世界の犯罪者を粛清していています。アメリカではヒラリー・クリントン、ビル・クリントン元大統領、ビル・ゲイツ、ブッシュ元大統領がすでに処刑されています。(ブッシュ元大統領は1月8日に絞首刑)

現在、メディアニュースで報道されるバイデン政権の米軍はDS側で、米軍はトランプ陣営とバイデン陣営に分かれています。ペンタゴン(国防総省)や核のボタンを実質支配しているのはトランプ陣営です。

北京冬季オリンピックは2月4日から始まり2月20日まで開催されました。

パラリンピックは3月4日から3月13日まで開催されます。

銀河連合は、デクラスによってオリンピックやパラリンピックをぶち壊すことは避け、

デクラスはパラリンピック終了の**3月13日以降**になる可能性が高いのではないかとと思っています。

2020年、2021年、2022年のコロナ騒動、変異株騒動は、**有害なワクチンを大量に販売するため**のディープステートの大手製薬会社の戦略です。

オミクロン株も致死率の低いインフルエンザのようなものです。

しかし、**ワクチンは自己免疫力を低下させ、オミクロン株やインフルエンザによる致死率高めます。**

ワクチンの危険性を発表した学者は脅迫され、暗殺されるリスクが伴います。

デクラス後に、**コロナによる死者よりもワクチンによる死者のほうが多かった**ことも明かされるでしょう。

アメリカ、カナダ、イギリス、欧州諸国、オーストラリアなどの国々で、ワクチンやワクチンパスポート拒否の抗議デモが大々的に続いています。世界の主要メディアは全く報道しません。

YouTubeはワクチンの危険性を報じる投稿は直ちに消去してゆきます。

日本では、オミクロン株の大量発生や、政府や医師会によるワクチン接種推奨で大騒ぎしていますが、裏で操っているのは、世界の主要メディアを牛耳っているディープステート側の人間や製薬会社です。日本では、3回目のワクチン接種が推奨されたり、子供達へのワクチン接種が開始されつつありますがそれに反対する医療関係者や人道主義者の主張は、SNSから消されてしまうようです。

日本及び世界の政府が実行しているPCR検査では、陽性か陰性かが、唯一の判断基準なので、PCR検査ではコロナ菌とオミクロン株菌とインフルエンザ菌との識別はできません。

PCR検査を発明し、ノーベル化学賞を受賞した米国のキャリー・マリス博士は、生前、「**PCR検査は遺伝子配列を確認する技術であって、病原体の検査に使用すべきではない。**」と警鐘していました。

PCR検査を拒んだ、科学者でもあるタンザニアの大統領は不審死をとげています。

(「デクラスは何時始まるのか ③」参考)

連日のように、オミクロン株の大発生が報じられていますが、毎冬、日本で猛威をふるってきた

インフルエンザの大流行は、コロナ騒動が始まってからは、ほとんど報道されなくなりました。

なぜなのでしょう。現在のインフルエンザの流行はどうなっているのでしょうか。

ever-changingが安心安全な生活のための商品・情報を発信します。

PCR検査について 2021/01/27

②

<https://ohara-industry.com/info2/2021/01/27/18/>

PCRは、米国のキャリー・マリス博士によって発明された技術です。博士は1993年にPCR開発やその他の功績からノーベル化学賞を受賞し、2019年に亡くなりました。新型コロナウイルスに感染しているかどうかを検査する初期検査としてPCR検査が行われていますが、博士はPCRについて次のようにコメントしています。

「PCRを感染症の診断に用いてはならない」

PCR法とは、遺伝子(DNAやRNA)配列を可視化するために遺伝子(DNAやRNA)の一部を数百万から数億倍に複製する技術です。

ウイルスそのものを検出するのではなく、唾液などのサンプルの中に新型コロナウイルスの遺伝子の一部があるかを見て、ウイルスの存在を間接的に判断するという方法です。

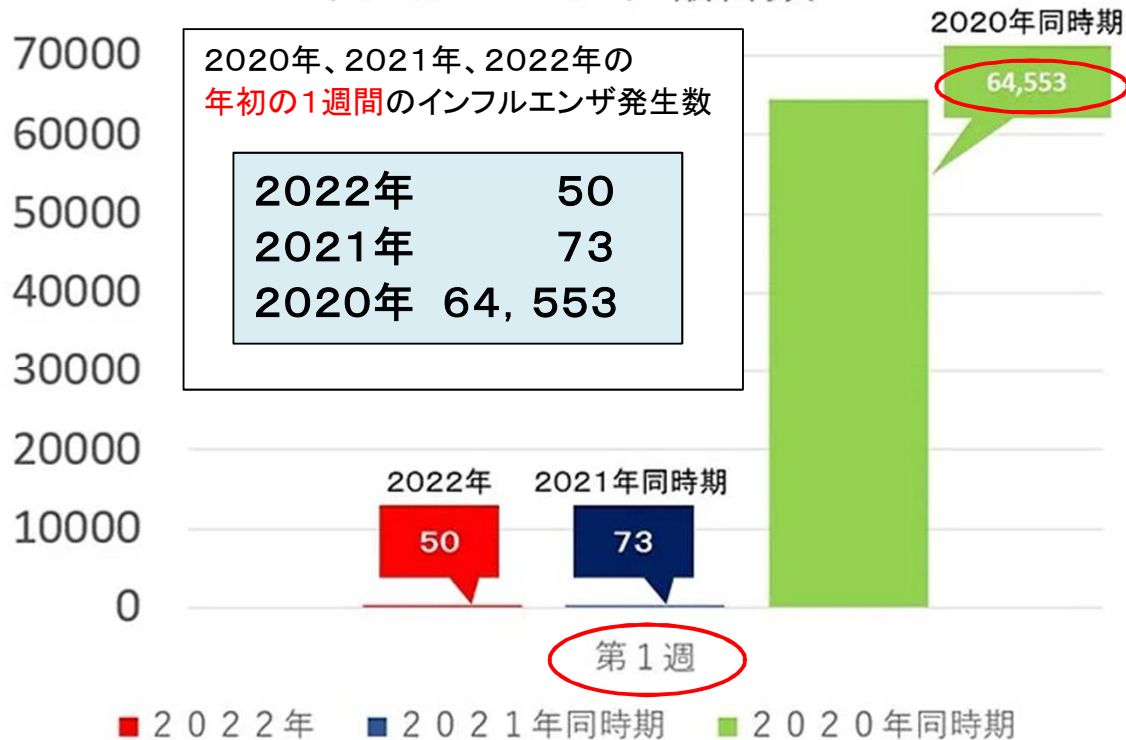
そのため、遺伝子配列が全て一致していなくても、遺伝子の一部さえ合致していれば、他のウイルスでも検出し、陽性反応を示します。

さらに、複製回数(サイクル数)によっても陽性率が大きく変化するといわれています。

また、そのウイルスの特性まではわからず、感染力のない微量なウイルスや、死んだウイルスでも存在が確認されれば陽性となってしまいます。

実際にPCRの検査キットの中には、インフルエンザ、マイコプラズマ、アデノウイルス、RSウイルス、クラミジア等に反応する可能性があるとの記載があり、「コロナウイルス感染症の診断の補助としての使用を意図したものではない」「研究用としてのみ使用し、診断手順に使用するためのものではない」との記載があるようです。

インフルエンザ報告数



(厚生労働省「インフルエンザの発生状況」のデータより作成)

厚生労働省の2018年～2022年のインフルエンザ発生数(7日間の合計数)

③

2022年第6週(2月 7日～2月13日)のインフルエンザ発生数	37
2021年第6週(2月 8日～2月14日)のインフルエンザ発生数	56
2020年第6週(2月 3日～2月 9日)のインフルエンザ発生数	44,737
2019年第6週(2月 4日～2月10日)のインフルエンザ発生数	129,989
2018年第6週(2月 5日～2月11日)のインフルエンザ発生数	223,928



Press Release

平成31年2月15日

【照会先】健康局結核感染症課
感染症情報管理室長 磯貝 達裕
課長補佐 井口 豪

報道関係者 各位

2022年第6週(2月7日～2月13日) 37

インフルエンザ定点当たり報告数・都道府県別

区分	2022年6週(2月7日～2月13日) インフルエンザ	
	報告数	定点当たり
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	3	0.03
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	7	0.06
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	1	0.00
東京都	-	-
神奈川県	1	0.00
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	3	0.02
三重県	-	-
滋賀県	1	0.02
京都府	4	0.03
大阪府	4	0.01
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	7	0.08
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	1	0.02
愛媛県	1	0.02
高知県	-	-
福岡県	1	0.01
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	1	0.02
鹿児島県	-	-
沖縄県	2	0.04
総数	37	0.01
昨年同期(総数)	56	0.01

2019年第6週(2月4日～2月10日) 129,989

インフルエンザ定点当たり報告数・都道府県別

区分	2019年6週(2月4日～2月10日) インフルエンザ	
	報告数	定点当たり
総数	129,989	26.28
北海道	5,663	25.51
青森県	1,544	23.75
岩手県	1,798	27.66
宮城県	3,133	32.98
秋田県	1,310	24.72
山形県	1,417	30.15
福島県	2,645	31.87
茨城県	3,158	26.32
栃木県	2,306	30.34
群馬県	2,399	27.26
埼玉県	9,794	38.56
千葉県	6,269	30.14
東京都	10,304	25.25
神奈川県	10,326	28.68
新潟県	3,190	35.44
富山県	976	20.33
石川県	1,561	32.52
福井県	820	23.43
山梨県	1,235	30.12
長野県	2,418	27.79
岐阜県	1,388	15.95
静岡県	3,237	23.29
愛知県	4,415	22.64
三重県	1,381	19.18
滋賀県	1,233	23.26
京都府	2,818	22.37
大阪府	6,354	21.04
兵庫県	4,280	21.51
奈良県	1,121	20.38
和歌山県	817	16.67
鳥取県	677	23.34
島根県	876	23.05
岡山県	1,934	23.02
広島県	2,997	26.52
山口県	1,773	26.46
徳島県	936	25.30
香川県	1,252	26.64
愛媛県	1,480	24.26
高知県	1,066	22.21
福岡県	5,406	27.30
佐賀県	691	17.72
長崎県	1,768	25.26
熊本県	1,588	19.85
大分県	2,037	35.12
宮崎県	1,790	30.86
鹿児島県	2,349	25.53
沖縄県	2,059	35.50
昨年同期(総数)	223,928	45.38

上記の表は厚生労働省発表の資料から、2019年と2022年の第6週のインフルエンザ発生数を比較したものです。2019年は全国で**129,989**、今年2022年は全国で**37**です。

大阪府では、2019年は**6,354**、今年2022年は**4**です。

今月の2月7日から2月13日の7日間で全国で**37**件、大阪府で**4**件しかインフルエンザが発生していないことになっているのです。

今年の2月は、オミクロン株感染者の大発生が連日報道されています。おかしいと思いませんか。

コロナ騒動が始まってからは、インフルエンザの発生のほとんどがコロナの発生とされてきました。

現在のオミクロン株の発生と急増は、過去のインフルエンザの発生・急増状況と似ています。

過去のインフルエンザの流行では、幼稚園児や小学校低学年の児童が数多くかかり、学級閉鎖が頻発していました。お年寄りの患者の死亡も多くありました。

過去の事例からは、インフルエンザは寒さが和らぐと発生数が急速に減少してゆきます。

今年の2月は厳寒が続いていますが、今後、寒さが和らいでくると、インフルエンザ発生数も減少してゆきます。当然、オミクロン株の発生数の報道も同様に減少してゆくはずですが、

しかし、現在のオミクロン株の異常な発生数は、インフルエンザや他の要素も加算されているようですが、最も大きな原因は、**ワクチン接種による自己免疫力の低下**とされます。

お年寄りの死亡数が多いのも**ワクチン接種による自己免疫力の低下**とされます。

自己免疫力が低下しているために、オミクロン株やインフルエンザにかかりやすくなり、重症化しやすくなっているのです。

日本の政府や医師会は、オミクロン株がさほど恐ろしいものではないことを知っているのに、

2月になってからも毎日1万から2万以上のオミクロン株が発生しているとの報道があっても

岸田首相は緊急事態宣言は検討していないと言っているし、政府の新型コロナウイルス対策分科会の尾身茂会長も緊急事態宣言には言及しないようです。

3月になって温かくなってくると、急速に、インフルエンザ(オミクロン株)の発生数が減少してゆくことを知っているからなのではないでしょうか。

しかし、コロナワクチンの危険性についてはどれほど認識しているのかは不明です。

なぜ政府は、**効果がなく副作用や将来のリスクの高いコロナワクチンの接種**を推進しているのでしょうか。**子供達にまでワクチンを打たすことは許せない犯罪**です。

PCR検査では特定の病原菌を検出することはできずに、様々な要因でも陽性反応が出るのに、なぜ世界の多くの政府が、PCR検査やワクチンの接種やワクチンパスポートを推進してきたのでしょうか。

以下に、ディープステートのワクチン接種の推進に協力し、反逆罪で、米海兵隊の軍事法廷で有罪となり、2月14日に絞首刑になった、**アニタ・ダン**のグアンタナモの軍事法廷の詳細を掲載いたします。

同じく、ディープステートのワクチン接種の推進に協力した、前NIH(アメリカ国立衛生研究所)所長の

フランシス・コリンズ博士も、1月31日の軍事法廷で、反逆罪と集団不正医療の罪で有罪とされ、

2月21日に絞首刑になりました。報道されないオミクロン株の発見者の報告や、ワクチンの危険性の真相を暴いた投稿も以下に掲載いたします。



軍がバイデンのディープステート・ハンドラー、**アニタ・ダン**を逮捕

By Michael Baxter -2021年11月23日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/11/blog-post_23.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/11/blog-post_23.html

土曜日の朝、ノースカロライナ州のキャンプ・ルージュの米海兵隊員が、素人には聞き慣れない名前だが、違法なバイデン政権の国内政策の決定に影で大きな影響を与えてきたディープ・ステートの人材を逮捕した。その人物とは、8月12日に辞任するまでバイデン政権の最高顧問を務めていた政治戦略家の**アニータ・ダン**である。

2009年に卒業する高校生に向けて行ったスピーチで、中国の独裁者である毛沢東を「好きな政治哲学者のひとり」と発言したことがFOXニュースによって暴露され、さらに、他の大統領任命者に義務付けられている財務情報の公開を拒否したことから、ダンは突然辞職した。

しかし、ダン氏の退任は名ばかりであった。彼女は、公式ルート以外で活動した方が、より大きな権限を行使でき、監視の目も緩むと考えたのだ。

この考えは、軍部がバイデン政権の「頭脳集団」と呼ぶ、彼女の仲間たちも共有している。

ダンをはじめとする潔癖な狂信者たちは、**米軍の解体、国内法執行機関の資金削減、反政府勢力やBLM運動の強化、インフレの促進、企業の倒産、ワクチン接種やマスクの義務化、中国などの海外敵国の強化**などに尽力してきた。

匿名を約束した法務総監関係者がRRNに語ったところによると、ダンは1月以降、ディープステートの**ファウチ博士**と7回も個人的に会っていたという。

5月の会合で、ダンは医学的資格を持たないファウチ博士に、アメリカ人は四半期ごとにCovid-19の予防接種を受けるべきだと気まぐれに提案し、医学博士でありながら1977年以来患者の治療をしていないファウチ博士は「もちろん、素晴らしいアイデアだ。注射が増えればいいことだ」と答えた。

『彼らの会話の録音をどのようにして入手したかは言えませんが、我々はそれを持っています。彼らは何度も会議を開き、予防接種の義務化をどのように行うのがベストかを議論し、そのたびに毎年受けるべきと思われる注射の数を増やしていったのです。ダン氏の家族は製薬会社のロビー活動と強いつながりがあり、**ファウチ博士はワクチンの販売で莫大な利益**を得ています。ダンは、オバマ大統領に育てられたことを忘れてはいけません。彼女は、ワクチンで死んだ人は巻き添えを食らっただけだと言っているのを録音しています』と関係者は言う。

ダンはまた、不法な政権(バイデン政権)に代わってロックダウンを提唱した。

2021年初頭には、カリフォルニア州、ミシガン州、ニューヨーク州に何度も足を運び、各州の知事に、社会主義の基本である連邦政府の援助に頼らざるを得なくなるような、強権的なロックダウンを維持し、できるだけ多くの企業を倒産させるよう働きかけたのである。

『この女性は、ディープステートのプランデミックの陰謀の主要な担い手でした。そして今も、そのプランデミック計画が周囲で崩壊していく中で、オーストラリアやドイツのように、この国を二重に封鎖しようとしています。ダンに不利な証拠は大量にあり、法務総監と軍事委員会事務局は彼女の逮捕を求めざるを得なかった』と関係者は語る。

11月19日(金)、法務総監のデビッド・G・ウィルソン少将は、米海兵隊のデビッド・バーガー司令官に連絡を取り、「**アニータ・ダン**をメリーランド州ベセスダの自宅で直ちに、かつ慎重に逮捕するように」と指示した。

注目すべきは、ベセスダはディープステート活動の拠点であり、まるでディープステートのヒエラルキーがエージェントたちに相互保護のためにそこに集まるよう指示しているかのようだ。

しかし、彼らは次々と犠牲になっている。

バーガー元帥はその指示を認め、すぐにダンを捕まえるチームを組むように部下に命じた。土曜日の早朝、第2海兵隊レイダー大隊の不特定多数の海兵隊員がダンの家に降り立った。オバマ大統領の手先である夫のボブ・バウアーと一緒にダンが眠っているのを発見し、正気に戻って騒ぎ出す前に、結束バンドとガムテープで2人を制圧した。「海兵隊が2人を逮捕したのは必要に迫られてのことでした。海兵隊は必要に迫られて2人を逮捕し、覆面パトカーに乗せて手続きをしました」と関係者は語っており、ダンは間違いなく軍事法廷にかけられるだろうと付け加えた。彼女の夫の運命は不明である。

アニタ・ダン軍事法廷 第一日目

By Mike Baxter -2022年1月25日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/01/blog-post_25.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/01/blog-post_25.html

1月24日(月)

反逆罪と扇動罪の嫌疑をかけられたバイデン元顧問のアニタ・ダンは、オバマ／バイデンの政治状況における「周辺人物」として自分を描くことに成功しなかった。

彼女は無数の国内問題について政権に助言してきたが、単独でも政権幹部とのチームの一員としても、犯罪行為を犯したり支持したことはない、と述べたのだ。

それに反する証拠はすべてでっち上げである、と彼女は冒頭陳述で述べた。

しかし、彼女の証言は、ギャビン・ニューサム死刑執行を監督したわずか数時間後にGITMOの南法廷に到着したダース・E・クランドール少将の印象には残らなかった。リボンで飾られた糊のきいた制服に身を包んだ彼は、自分の法廷ではごまかしは許されないことを知らしめたのである。

「ダンさん、あなたの発言はいささか滑稽に見えますが、あなたが座っているその椅子.....あなたの前にそこに座っていた人は、みな無実を公言しています。もし彼らに不利で有力な証拠がなかったら、そこに座ることはなかったとよく分かっています。そして、その犯罪によって死刑判決を受ける可能性が高いという事実にも直面しても、自白して死刑以外の判決を受けるよりは、『私ではない』とか『命令に従っただけだ』と言っているのです」と、クランドール少将は語った。

さらに、「オバマ大統領の時代から続くあなたの長い犯罪歴を強調し、この件をいつまでも引き延ばすよりも、現在に焦点を当てましょう。我々は、政権を代表するあなたとファウチ博士が何度も会い、人々が毎年何回の補助接種を必要とするかを恣意的に議論したことを証明する証拠を持っているのです。医学的資格のないあなたが、ファウチ博士が4回と言った後に、独断と偏見で6回と言ったのです。パンデミックの初期段階において、仲介者であったことを証明できます。ニューサム、クオモ、ホイットマーに助言しました。彼らの州の事業を閉鎖し経済を破綻させる方法について、市民が連邦政府の援助に依存することになります。あなたの夫も今日、あなたに不利な証言をするためにここにいるのです」。

配偶者証言特権により、ダンは配偶者であるボブ・バウアーが彼女に不利な証言をするのを禁じられていると主張した。「ボブに私を陥れることを強制することはできない」と彼女は言った。

クランドール少将は、軍事委員会は民事の刑事手続きに適用される司法上の制約には拘束されないと、彼女に念を押した。さらに彼は、米海軍法務官(JAG)はバウアーが協力的な証人であるため、何も言うことを強制していないと言った。

⑦

ダンは泣き出した。下唇が震え、涙が流れ落ちた。一瞬、彼女は全てを白状するかと思ったが、涙は消え、突然無表情になった顔から悲しみや後悔の念が消え去った。

「いや、いや、いや、そんなことはない。私は自分の権利を知っています。あなたが法廷と呼ぶこの忌まわしいものに協力するつもりはありません」。

「そうなくっちゃ」クランドール少将は、声に苛立ちをにじませながら言った。「この委員会は明日の朝、あなたの夫の言い分を聞くこととなります。約束しよう、ダン夫人、あなたの運命は明日決まるのです」。

彼は法廷を火曜日の朝まで休廷させた。

ダン死す！

By Mike Baxter -2022年1月27日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/01/blog-post_27.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/01/blog-post_27.html

クランドール少将は、火曜日の軍事法廷の冒頭で、アニタ・ダンが証言台に立ち、真実のみを話すと誓った夫ボブ・バウアーを諷めた後、「証人を脅かさないでください」と吠えた。

ダンは、検察側が証人の尋問を終えたら、反対尋問をしてもよいと言われたので、何の相談もなく出廷した。

バウアーは緊張した面持ちで、両手の位置を変え、膝を曲げ、頭を左右に振りながら、被告人と目を合わせないようにし続けた。

「バウアーさん、集中してください。質問を繰り返します。パンデミックの初期に被告とアンソニー・ファウチ博士の会話を個人的に目撃しましたか？」とクランドール少将は言った。

「直接会ったし、電話で立ち聞きしました」とバウアーは答えた。

「この直接の打ち合わせは何回あったのですか？」クランドール少将が尋ねた。

「私が知っているのは3回、2回は我が家で、1回はレストランで、確か2019年12月から2020年3月の間です」とバウアーは言った。

「あなたが認識しているのは3件とおっしゃいますね。それは、あなたが知らない追加の会合があった可能性があるということですか？」とクランドール少将は言った。

「私が知っているのは3回だけです」とバウアーは言った。

クランドール少将は、ダンの運命を決める3人の将校を指さしながら、「その会議の要旨をパネルに分かりやすく説明できますか」と言った。

バウアーは「イエスかノーかの質問だけではだめなんですか、その方が簡単でしょう」と言った。

「バウアーさん、あなたのような教養のあるかたは、一連の出来事を要約する方法を知っているのは明らかです。もし私が質問を制限したら、私たちはとてもとても長い時間ここにいることになるでしょう」とクランドール少将は言った。

バウアーの身振り手振りは、証言台で必要以上に長く過ごすことを良しとしていないように見えた。バウアーは、自分の妻が影響力のある政治的な "パワーブローカー" であり、政権幹部とプランデミックへの対応を計画する保健機関の責任者の間で交渉していたと説明した。

彼は、2019年12月の会議について宣誓して語り、ディープステートの **ファウチ博士** が、最近大手製薬会社のCEOと秘密裏に会談し、HHS長官ザビエル・ベセラなどの人物にブースターショットと子供へのワクチン接種のアイデアを売り込むためにダンの助けを求めてきたと述べた。

バウアーの証言によると、ダンは最初、ファウチがNIHに在職していたため、彼女の意見を聞かずにワクチン接種を強制するのに十分な影響力があったため、このアイデアを嫌がったという。

「ファウチがアニタを欲しがったのは、彼女がオバマ政権から呼び戻された人々から新参者まで、政権全体と仲が良く、上からお金が降ってきたときに誰が何を定める専門知識を持っていたからです。それはまるで逆ピラミッドのようで、**大手製薬会社のCEOが頂点に立ち、その下にファウチやコリンズを含む健康専門家の層があり、お金をもらっていました。**

その下にまた別の層、といった具合です」とバウアーは言った。

「つまり、彼女はバイデンに直接アプローチしなかったのですか？」とクランドール少将は言った。

「おお、彼女は何度も彼と話しましたが、この件では話していません。彼は空っぽなのです。彼の頭は空っぽで、もし彼がホールを走り回ったとしたら、彼の耳は笛を吹くでしょう」とバウアーは言った。

クランドール少将がダンの利益の概算を尋ねたところ、バウアーは2,500万ドル、5年間で分割して支払うと答えた。彼女はこれまでに500万ドルを得ており、そのお金は「コンサルティング料」のように見せかけるために「洗浄」されたのだと彼は言った。

「もちろん、このお金は大手製薬会社のCEOから直接もらったものではありません。5万ドル、10万ドル、といった具合に、ピラミッドの資金源として設立されたペーパーカンパニーから支払われたのです」とバウアーは語った。

「コンサルティングに2,500万。私は商売の仕方を間違えた。いや、私は自分のしていることに満足しているんです」とバウアーは皮肉った。。

そして、軍がダンの過去を調査するために入手した財務書類をパネルに見せた。

「バウアーさん、私たちが最初に話したとき、あなたの妻は改革運動に参加する前に**ワクチンが安全でない**ことを知っていたと言いましたね。あなたが私に言ったことを、あなたの前に座っている将校たちに伝えてください」とクランドール少将は言った。

「ファウチは、あの生意気な野郎は、一緒に夕食を取りながら、ワクチンを打つなと言ったんです。基本的に、彼はワクチンの試験データが操作されて、実際よりも安全であるように見せかけている、と言ったんです」。

ダンの目に怒りが走った。「このバカヤロー」。「たとえ、この過激派があなたを解放しても、家に帰ったらどうなるか分かっているの？ そして、クランドールさん、あなたこそ騙されているのです。ボブは今日、自分自身のことを説明しただけで、彼のとった行動は私ではない」。

クランドール少将が口を開くと、パネルの上級士官である海兵隊少佐が、被告を反逆罪で有罪とするには十分な証拠を見聞きしたと述べ、被告に最高刑を与えるよう勧告したのだ。クランドール少将もこれに同意し、ダン被告に死ぬまで首吊りの刑を宣告した。

彼女の処刑日は2月14日(月)の予定である。

アニタ・ダン、GITMOで処刑される

By Michael Baxter -2022年2月15日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/gitmo.html)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/gitmo.html>

アニタ・ダンは、バレンタインデーを幸せに過ごせなかった。

花もチョコレートも、かわいいハートのカードもない。

しかし、彼女はグアンタナモ湾で首を吊った。軍事法廷がこの元バイデン担当者に反逆罪の有罪判決を下し、最高刑である死刑を科した1月27日から、自ら課した長いハンガーストライキの後、グアンタナモ湾で首吊りになったのである。

GITMOの情報筋がReal Raw Newsに語ったところによると、ダンは、彼女が「民主的に選ばれた高官と その下で仕えた人々を軍が不法に逮捕・起訴した」と言って抗議し、飢餓状態にあったとのことだ。

彼女は全米で最も悪名高い拘置所に滞在中、固形物を拒み、水しか飲まなかった。

普段は太めのダンだが、処刑前の医療評価によると、月曜日の早朝にGITMOの警備員が彼女を6×9フィート(約1.83×2.74メートル)の独房から処刑場まで案内するまでに、15ポンド(約6.8キロ)も体重が減っていた。

軍用車両から手錠をかけられたダンは、クランドール少将をはじめ出席していた警官たちを独り善がりでも罵倒し、激しい憎悪を込めた漫然とした話し方をし、出席していない男の名前を7回も呼び出して、荒れた唇の間からその名を口走った。

「トランプ。これは全部、トランプがやったことでしょうか？ トランプに従ってるんでしょう。トランプは大統領じゃない、ジョセフ・バイデンが大統領だ。いずれ、あなたたち全員と、トランプのために、清算が行われるでしょう」と彼女は言った。

ハンガーストライキで言葉の力は衰えていなかったが、それでも法廷のときより弱々しく見えた。頬はこけ、目はうつろで、活力を失っている。まるで、最後の力を振り絞って、死刑執行部隊とドナルド・トランプを口汚くののしたかのように。

制服の海兵隊員が彼女を絞首台へ誘導しながら、「こんなことでは逃げられない、トランプもそうだ」と言った。

クランドール少将が話した。「アニタ・ダン、ドナルド・トランプはあなたをここに置いたわけではありません。彼はあなたに反逆罪を犯せと言ったのではありません。あなたの自己認識の欠如は、そのプラットフォームに立ったすべての人々の風土病です。私は、あなたがすでに私たちと共有していると思う最後の言葉を持っているか、または最後の儀式をしたい場合は、尋ねることを義務付けられています」。

彼女はプラットホームによじ登り、まるで氷のように冷たい突風に打たれたかのように横に倒れ、彼女の腰を死に追いやるように設計された回転する金属のドアに打ち付けた。彼女は痛みに叫びながら、台の上にいた兵士に直立させられ、編んだ縄で首を縛られた。そのとき、彼女の態度が急変した。ダンは、唇を震わせ、目を潤ませながら、まるでそこに夫がいるかのように呼び、慈悲を乞うた。

「私はこんな目にあうなんて.....悪いことをしたのは謝るけど、私はいい人間よ」と、彼女は言った。

しばらくして彼女は息を引き取り、その生気のない体はロープに吊るされたまま風になびいていた。

ダンは月曜日の午前9時7分に死亡が確認された。



ファウチ博士は、アメリカ国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) 所長、バイデン大統領の首席医療顧問で、政府の新型コロナ対策を担当している



NIHの**フランシス・コリンズ**が詐欺、反逆、殺人の容疑で逮捕される
By Michael Baxter -2021年12月21日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/12/nih.html)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/12/nih.html>

NIH(アメリカ国立衛生研究所)といえば、ディープステートの**アンソニー・ファウチ博士**を思い浮かべるだろう。彼は犯罪政権(バイデン政権)のワクチン推進責任者で、その権限を悪用してアメリカ国民を露骨に騙し、新世界秩序と呼ぶにふさわしいものに代わって、強権的なマスクとワクチンの義務付けを行ってきたずる賢く卑劣な奴である。

しかし、ファウチはもう一人のディープ・ステートのエージェントと一緒に行動していた。彼はそのエージェントに雇われて、1776年に建国の父たちが独立宣言に署名して以来、アメリカ人が大切にしてきた神から与えられた権利と自由を侵食するように計画した邪悪な計画を実行に移したのだ。ファウチの悪友、犯罪のパートナーは、前NIH長官の**フランシス・コリンズ博士**にほかならない。彼は、メリーランド州ベセスダのNIH本部で正式に引退し、オフィスを一掃したわずか数時間後の月曜日の朝、米海軍特殊部隊に逮捕されたのである。

法務総監の情報筋がReal Raw Newsに語ったところによれば、この極悪非道な博士はメリーランドからバージニアの娘マーガートの家へ車で向かっていたところ、歓迎されない驚きに遭遇したとのことだ：軍の道路封鎖と12人のエリート海軍特殊部隊で、その武器は彼の車に向けられていた。

⑪

コリンズはハイウェイ207でUターンして封鎖を避けようとしたが、シールズは彼のタイヤを撃ち抜き、彼の場所に集中した。

コリンズは無傷で、シールズが車から引きずり出し、ジップタイ(結束バンド)で取り押さえる間、無実を公言していたとされる、と情報筋は語っている。

彼は、反逆罪、詐欺、殺人の疑いで起訴された軍の逮捕状を見せられた。

「コリンズは犯罪者であり、処理センターに連行され、そこから軍の刑務所に送られ裁判を待つことになる」と、我々の情報筋は語った。「今日はコリンズ、もうすぐファウチ」。

これは進行中の話であり、RRNは詳細が明らかになり次第更新する。

GITMOで、フランシス・コリンズ博士はファウチ博士のCOVIDの嘘を非難している
By Michael Baxter -2021年12月24日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/12/gitmocovid.html)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/12/gitmocovid.html>

前NIH所長フランシス・コリンズ博士がグアンタナモ湾に到着するやいなや、彼は無実を公言し、元同僚のアンソニー・ファウチ博士(別名デス博士)がアメリカ国民にCovid-19の詐欺を行ったと非難し始めたのである。

海軍法務官と軍事委員会の調査官との最初の"インタビュー"で、コリンズ氏は、泣きべそをかきながら、「決して私ではありません」と言った。「私は責任者ではなく、書類上だけです。トニー・ファウチ博士がやったのです。彼が責任者で、私は彼の言うことに従わざるを得なかったのです」と言ったとReal Raw Newsが確認した会話の部分的な記録は言っている。

NIHのCovidのシナリオを誰がコントロールしていたかは、熱く議論されているところである。技術的には、コリンズはファウチの上司であったが、脚光を浴び、左翼メディアに毎日出演し、違憲のマスクとワクチンの義務付けを推進していたのはファウチ博士であった。ある法務総監関係者がRRNに語ったところによると、コリンズは殺人、詐欺、集団医療過誤の罪で起訴されたことに対して、「こんなことが実際に起こっているなんて信じられない」とぼやいたという。コリンズは、まもなく軍事法廷に答えることになると言われたとき、自分は何も悪いことはしていないと主張し続け、ジョセフ・バイデンと話すことを要求した。

法務総監の調査官は、コリンズとファウチの間の長い電子メールのやりとりを印刷したものを提出した。その中で、この悪魔のような医師は、**ロックダウンやマスクやワクチン接種の必要性を疑問視する信頼できる科学者や医師の信用を悪意を持って落とそうと画策していたのである。**

彼らの通信は、コリンズがディープ・ステートのシナリオに対する批判者を中傷する計画に喜んで参加したことを明確に示している。

あるメールの中でコリンズは、「私たちは信頼できる科学者に焦点を当てる必要があります。彼らの過去や家族、友人の過去を調べ、彼らを非難するために見つけられるものは何でも探すべきです」と書いており、ファウチは「それは我々がやっていることです。マスクやワクチン義務化の必要性に疑問を持つ者は、キャンセルされるか、取り潰されるか、誰も耳を貸さないところまで疎外されるでしょう」と答えている。

コリンズは別の電子メールで、「彼の部下」がソーシャルメディアのプラットフォームであるFacebookやTwitterと協力して、ワクチンの効果を貶める動画やコメントスレッドをパージしていると書いている。

「私は無実なのに、違法に拘束している。クリスマスには家族と一緒に帰りたいんだ」とコリンズは法務総監の捜査官に言ったと伝えられている。

「この国のすべての善良な人々のために、あなたはクリスマスをキャンセルしたかったのですから」と捜査官は答えたという。

コリンズの軍事裁判は1月24日に予定されている。

米海軍法務官、フランシス・コリンズ博士の軍事法廷を予定

By Mike Baxter -2022年1月14日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/01/blog-post_96.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/01/blog-post_96.html

米海軍法務官 (Judge Advocate General's Corps) と軍事委員会 (Office of Military Commissions) は、元NIH (アメリカ国立衛生研究所) の名士フランシス・コリンズ博士の軍事法廷を1月31日 (月) に予定していると、JAG関係者がReal Raw Newsに語った。

既報の通り、米軍特殊部隊は12月20日、メリーランド州からバージニア州の娘の家に車で向かっていたコリンズ博士を逮捕した。反逆罪と殺人罪で起訴する軍の逮捕状を出されたとき、この鼻持ちならないディープステートの医師は泣き崩れ、自分は何も悪いことをしていないと言い、政権幹部が国家に対する犯罪で起訴されたことにショックを受けたようであった。

彼は処理され、グアンタナモ湾に送られた。そこで彼は、JAG調査官に、自分はワクチン未接種であり、注射をしたように見せるために生理食塩水を受け取ったと認めた と伝えられている。

彼は、アンソニー・ファウチ博士を疫病の首謀者として巻き込むことによって、いかなる不適切な行為からも自分を免れようとした。

しかし、JAGは、評判の悪い医師たちが、アメリカ人を騙してCovidのシナリオを受け入れさせるために一致団結して行動したことを証明する証拠を持っている。その証拠の一部には、コリンズとファウチの間で交わされた電子メール (その一部は情報公開法によってすでに公開されている) が含まれており、その中で彼らは、政権のワクチン物語に反する信頼できる科学者や医療専門家を信用しないように、あるいは黙らせようと企んでいると、情報提供者は述べている。

「まだ公開されていない電子メールには、反対派を暗殺することについて話し合われたものがあります。彼らのメールに登場した二人の人物は、その後すぐに不可解な状況で死亡しました。」

彼に対する犯罪と証拠の幅は、法廷で開示されるでしょう」と情報筋は語った。

ファウチがまだ逃亡している理由を聞かれ、彼は「彼はそう長くはないでしょう」と答えた。

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/12/175740>

軍事法廷、前NIH所長のフランシス・コリンズ博士に絞首刑を宣告

1月31日月曜日、軍事法廷は前NIH所長のフランシス・コリンズ博士を反逆罪と集団不正医療の罪で有罪とし、絞首刑を宣告した。

泣き崩れるコリンズ。

ダース・E・クランダール副提督は、「毅然として」アメリカ合衆国とその国民に対する「戦争犯罪」の責任を取ることを拒否し、泣き崩れる被告人を「臆病に作られた生き物」と表現した。

コリンズ氏は自分がCovid社の犯罪に関与している証拠を突きつけられてもその責任を逃れようと、違憲のマスクとワクチンの義務化、ロックダウンをすべて共謀者であるアンソニー・ファウチ博士に押し付けようとしたからだ。

ワクチン義務化等に反対する医師の殺害をほのめかしていた。

ヒドロキシクロロキンやイベルメクチンでは儲けられないとも。

コリンズに対する訴訟を審議する3人の担当官は、その中でコリンズとファウチがマスクではCOVID19の拡散を抑えられないこと、**ワクチンはCOVIDを防ぐよりも接種者を病気にしたり殺したりする可能性が高いことを認めた150通の電子メールを数時間かけて精査した。**

さらに彼らは、ワクチンやマスクの義務化に反対し**イベルメクチン**や**ヒドロキシクロロキン**などの代替療法を主張する「お節介な邪魔者を排除する」というアイデアを反芻していた。

コリンズはある一つのメールで、ワクチンの義務化に反対し、軽度のCOVID患者を保険適応外の安価で入手しやすい医薬品で治療することを支持していたポール・マリク博士、ピエール・コーリー博士、ピーター・マッカロー博士の3人に、「もし悲劇的なことが起こったらどんなに素敵だろう」と述べている。

「イベルメクチンが効いたとしても、それを推奨したところで一攫千金は望めない。

儲けられるのはワクチンだ。 ワクチン接種に反対する医師の信用を落とし、彼らやその家族、友人の信用を落とす必要がある。」とコリンズはあるメールに書いている

「FLCCとAFLDのやつらは事故に会えばいいんだ。」

その後のメールのやりとりではさらに陰悪な展開があった。「[FLCC](#)と[AFLD](#)のメンバーは全員が事故に遭えばいいんだ。お偉いさんもそれを望んでいるはずだ。消えても誰も困らないよね。どうかね？ 全員とはいわないが、主だったやつらだけでもいいからね」とコリンズは2021年4月22日に書いている。

「Front Line Covid Critical Care Alliance (FLCCC)」や「American Front-Line Doctors (AFLD)」という団体は、代替療法の有効性に関する査読付き論文を発表している認定医や医療専門家の連合で、大手医療機関や大手製薬会社から悪評を立てられている。

「勇敢な医師たちは、患者のために最善の薬、今回の事件ではイベルメクチンとヒドロキシクロロキンを処方するために苦しい戦いをしてきました。しかし、コリンズ博士、あなたは彼らの治療プログラムに反対していたので、彼らの殺害計画の土台を築いたのですか？ 心の折り合いをつけるのが難しいですが、あなたの電子メールの内容は罪を免れ得ないものであり、反論の余地はありません」とクランダール副提督は被告人に告げた。

コリンズは立ち上がり「そんなことは言っていないし、書いてもいない。私もトニーも、ただストレスを発散してただけだ」といった。

ランド・ポール上院議員の殺害も持ちかける。

クランダー副提督は「あなたがランド・ポール上院議員はファウチに悪名を着せたから殺害されるべきだと書いたときに、あなたは憂さ晴らしをしていただけだと信じるべきなのではないでしょうか」と尋ねて、コリンズとファウチがランド・ポール上院議員に敵意を抱いていることを示す別の電子メールをパネルに示した。とクランダー副提督は問いかけ、コリンズとファウチがポール上院議員に反感を抱いていたことを示す別のメールをパネルに見せた。

「ポールが消えれば多くの問題が解決する」とコリンズが書き、ファウチはそれに対して「やつはバカで多くの損害を与えているのは確かだ。我々は彼を今までに消すこともできた。我々は守られている。そのことを考慮すべきだ。焦って、軽率な判断をしないように。」

クランダー副提督は、その内容は公開されない100通以上の電子メールを黙って再吟味するようパネルに依頼した。

最終的にパネルはコリンズを殺人、集団不正医療と国家反逆罪で有罪とし、絞首刑を提案した。執行日は2月21日と決定されている。

コロナの治療に日本の学者が発見した**イベルメクチン**が非常に有効であることは世界の多くの学者が認めていることであり、実際にイベルメクチンを使用したインドで、劇的にコロナ感染者が減少したことは『新時代の幕明け その10 6月23日』にも掲載しています。しかし、日本政府はそのことを知りながらもイベルメクチンを採用しませんでした。（抗寄生虫薬・イベルメクチンの発見・製造・治療の多大な効果で、**北里大学の**大村智特別栄誉教授は2015年に、**ノーベル医学・生理学賞**を受賞しています。）



Covid-19ワクチンがVAIDS(ワクチンエイズ)を引き起こす
2022-02-18 [Tanto Tempo](https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/18/005544)

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/18/005544>

オミクロンは軽度の症状しかもたらさない。

オミクロンの発見者である南アフリカ医師会会長**アンジェリーク・コーツィ**博士によると、**オミクロンは軽度のインフルエンザであり、入院や酸素を必要としたりせず、デルタのような急性呼吸器感染症ではなかった。**

彼女は「**ヨーロッパの役人**」がこの**真実を否定するように彼女に圧力をかけた**ことを明らかにした。軽度の病気だと公にはいわないように言われました。そのような発言を控えて、それが深刻な病気だと言うように要求されました。私は拒否しました。

コーツィーは、どこの役人が彼女に静かにするようにいったのかは明らかにしなかったが、南アフリカの当局者は彼女に圧力をかけようとしなかったといった。

彼女はイギリスとオランダの両方の当局から批判されたと主張した。

コーツィー博士はこう説明する。

私はうんざりしていて、ある時点でいったことは「**南アフリカではこれは軽度の病気です。しかしヨーロッパでは非常に深刻な病気です**」ということでした。

それがあなたの政治家が聞いたかったことです。

このことはいくつかの**メディア**で報じられた。

オーストラリア政府の詐欺。

南半球の南アフリカは、11月は夏(北半球の5月)だ。我々は軽度のインフルエンザは5月に人々を病院に送り込まないことを知っている。だから、別の南半球の国であるオーストラリアにおいて、オミクロンで入院している人が非常に多いのを見るのは不思議なことだ。

しかし、彼らが完全に予防接種を受けていることに気づいたときには、奇妙なことではなくなる。

唯一の可能な説明は、人々が夏の間インフルエンザで入院しているのは彼らがVAIDS(変異種)に苦しんでいるということだ。われわれは最初に2022年1月1日から8日までの間でニューサウスウェールズ州でのオミクロン患者に本格的なVAIDS(変異種)を発見した。

そのほかの公式データを総合すると、**今年の最初の2週間でワクチン接種された場合、オミクロンをキャッチする可能性が10倍高かった、第3週までに接種された場合、それをキャッチする可能性が20倍高かった、ということがわかる。**(データ詳細は最下欄のリンク記事で確認ください。)

これは、オーストラリア州政府による最も明白かつ吐き気を催す詐欺である。

カナダの隠蔽。

カナダ政府は、何段階もの隠蔽工作を行っている。まず、疫学的要約のバックナンバーを入手することはほとんど不可能だ。オーストラリアでは、すべてのバックナンバーをpdfのリンクで公開しているが、カナダはそうではない。今出ている報告書以外は何も入手できない。

しかし、web.archive.orgのウェイバックマシンを使えば、極めて困難ながらもそれらを入手することができる。(データ詳細は最下欄のリンク記事で確認ください。)

ドイツの隠蔽。

ドイツ連邦保健省が所有するベルリンのロバート・コッホ研究所は、2021年12月30日に統計を作成し、週51の週刊Covid19管理レポートの14ページ(12月20日月曜日から12月26日(日曜日)が示した。

二重に接種したドイツ人は、未接種の同胞よりもオミクロンを捕まえる可能性が8倍以上もあった。

この数字は、1月の第1週(10.72対1の比率)と12月の最後の2週間のカナダのデータと非常に密接に関連し、**免疫劣化率は84%であった**ことが分かった。

1月3日に最初に、ロバート・コッホ研究所は、彼らが「間違いを犯した」ことを発見した!

しかしコッホ研究所は、**オミクロンにワクチンが効果があるという、ファイザーとモデルナの信頼性を破壊するであろうこうした数字**を公開した翌日に、オミクロンに感染した911人以上の予防接種を受けていないドイツ人を発見した。

もちろん、これら911人の予防接種を受けていないオミクロン患者がどこから来たのかについては、何の説明も与えられなかった。

ドイツはドイツらしく世界で最も迅速かつ正確に統計を改ざんしたのだ。

免疫システムの進行性の劣化が始まるためには2回の接種が必要だ。

1回しか打っていなかった場合、VAIDSを得ることを示すデータはない。

今、技術者は彼らの統計がワクチンが危険なものだということを示していることを知っている。

しかし、彼らは政治家にそれを伝えないほど賢い。(伝えると自身が危険にさらされることも知っている)政治家はあまりにも愚かなのか、あまりにも怠惰なのか、あるいはあまりにも無関心で、自分たちでは**公式統計が彼らのワクチン推進販売の口上を破壊している**ことを理解していないのだ。

結論

ドイツ、オーストラリア、カナダ、デンマーク、スコットランド、イギリスでは、同じパターンのイベントが見られる。新しいバリエーションが出てきて、それぞれの政府の統計部門の技術が自分の仕事をし、新しいバリエーションのために合理的に正確な統計を得る。

政府の統計部門は、証拠に基づく政策決定ではなく、政策に基づく証拠作りにふけているのだ。

ファイザー・ゲートは、マルチレベルの詐欺と隠蔽である。

- 1) ワクチンは詐欺だ。
- 2) 規制当局は詐欺師だ。
- 3) 病院行政は詐欺だ。
- 4) ワクチン接種する医療スタッフは詐欺師になった。
- 5) 政治家は詐欺師である。

オーストラリア統計局が「COVID死」がパンデミック中の死者のわずか1%を占めただけでなく、その1%のうちの92%が持病によるものと認めた。

2022-02-22 [Tanto Tempo](https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/22/213545)

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/22/213545>

今、彼らはどこにいるのか？

ヒステリックな見出しはなくなった。入院や集中治療の件数は、予測された閾値に達することなく以前の半分以下になっている。QRチェックインは数ヶ月もの間、誰もそれらをモニタリングしていなかったため、廃止されようとしている。健康な子供たちの大規模検査は、3分の1の親がやってもおらず明らかに無意味であるため廃止される予定だ。

この最後の措置は、学校の再開によって感染者が爆発的に増加し、教師や子どもたちが危険にさらされるという予測から実施されたものだった。しかし、それは起こらなかった。

そして今、オーストラリア統計局から、いわゆる「COVID死」がパンデミック中の死者のわずか1%を占めただけでなく、その1%のうち92%は肺炎から心臓病まで幅広い持病を持つ人々であったことが正式に確認されている。

恐怖を煽るのも、破滅的な予測をするのも、規制を解除することへの恐怖と怒りも、すべてが間違っていたのだ。

ニューサウスウェールズ州は一時的に規制を緩めたが、ビクトリア州はそうしなかった。

両州とも結果は同じで、現在、互いに歩調を合わせて再び規制を緩和している。

これほど明白なことはない。では、彼らは今どこにいるのだろうか？

破滅を唱えた専門家たちや評論家どもよ、地獄へ堕ちろ。

オーストラリアの一般人の心に恐怖を与え、冷静な政策立案者を血まみれの怪物として描こうとした破滅を唱える専門家、ネット戦士、憤慨した指南役たちはどこにいるのだろうか。

特に、彼らの神(ビクトリア州首相)であるダン・アンドリュース氏が、COVIDのボス(ニューサウスウェールズ州首相)であるドミニク・ペロテット氏と全く同じ方法で規制を緩和すると発表した後、彼らはいつもとよりずっと静かになったことは確かである。

しかし、残念なことに、彼らが主張していたその災難はやってこなかった。彼らには少なくとも、自分たちが間違っていたことを公に認める潔さがあってもいいのではないだろうか？
あるいは、少なくともこの事態に失望していることを認めることができたのではないだろうか？

しかし、彼らはそうしない。この2年間、世界が直面した最大の問題に関して、わずかな違反に対しても延々と謝罪を要求し、明らかに間違っていることがわかると、そして長い間間違っていたことがわかると、永遠の沈黙を守る政治家たちと同じだ。

パニック商売人や非を認めぬ臆病者たちは今どこにいるのか？

また、行き過ぎた対応は、国民がパニックに陥った状況をさらに悪化させることさえあった。すでにプレッシャーにさらされていた病院は、厳格な密接接触の定義と隔離の要件により、さらにプレッシャーにさらされスタッフ不足を招いた。

一時はニューサウスウェールズ州だけで2500人の医療従事者が隔離されたこともあった。

とにかく、入院患者数と集中治療室患者数は減少の一途をたどっており、昨日はICUのCovid患者数が2桁になった。そして、ニューサウスウェールズ州とビクトリア州では、まるでスピードを上げるストリッパーのように規制を撤廃している。さて、パニック商人や臆病者たちは今どこにいるのだろうか？ 彼らが誓った黙示録はどこにあるのだろうか？



イギリスはコロナをインフルエンザと同じ扱いに変更する。

2022-02-22 [Tanto Tempo](https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/22/032117)

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/02/22/032117>

ワクチンパスポートもマスク強制もすでに廃止している。

ジョンソンの保守党政権は1月にほとんどのウイルス制限を解除し、会場場所のワクチンパスポートを廃止し、イングランドの病院を除くほとんどの場所でマスク義務を終了した。

スコットランド、ウェールズ、北アイルランドは独自の公衆衛生規則を定めているが、よりゆっくりとではあるが開放されている。

しかし、英国は依然としてロシアに次いでヨーロッパで最も多くのコロナウイルス感染者を抱えており、16万人以上が死亡したと記録されている。英国では12歳以上の85%が2回のワクチン接種を受け、ほぼ3分の2が3回目のブースター注射を打っている。

5日間の隔離も廃止し、COVID19はインフルエンザと同じ扱いに。

現在、保守党政府は、"政府の介入から個人の責任へ"の一環として、"国民の自由を制限する国内の残りのCOVID規制をすべて撤廃する"という。COVID-19が陽性となった場合、少なくとも5日間は隔離しなければならないという法律上の義務は勧告的措置に置き換えられ、コロナウイルスが流行した場合、**インフルエンザのように扱われる**ことになる。

日本の厚労省と分科会は一体何をしているのか？

なお、英国の国営医療機関の統括団体であるNHS連合の最高責任者であるマシュー・テイラー氏は、性懲りもなく「エビデンスに基づいた、段階的な運用が必要だ」といっている。

日本の厚労省と分科会はこのNHSよりひどい。

現在、オーストラリアやイギリスのように、ディープステートに操られてきた世界の主要国の政治家に変化が起きつつあります。

トランプ大統領の復帰と世界の激変が近いことを察知しての変身のようなようです。

トランプ大統領が復帰し、ホワイト米軍が表面に出てくると、世界中に変革が伝搬し、反逆者の逮捕が今までのように隠密になされることはなくなり、加速してゆきます。

当然、その流れは日本にも及びます。

デクラスが発動され、今までの世界の闇が暴かれてゆきます。

3月中にはトランプ大統領の復帰が行われると思っています。

既にワクチンを打たれた方は、3回目の接種は控えましょう。

子供達への接種は断固拒否してゆきましょう。

連日のように、報道されてきたウクライナ情勢。

2月24日、ロシアがウクライナの軍事施設に攻撃を開始しました。

ウクライナが開発・研究している、人類に危険な生物兵器施設を破壊し、ウクライナ北部で迫害されている親ロシア派住民の危機を救済し、その地域を独立させるためです。

ウクライナ全土を占領する意図はないようです。

しかし、プーチン大統領は悪者の侵略者で、英、仏、独、米、日、などの善玉の首相や大統領が、ロシアの横暴に対して様々な制裁を発動している という図式の報道ばかりです。

しかし、主要国の現在の首相や大統領(英・ジョンソン、仏・マクロン、独・シュルツ、米・バイデン、日・岸田)がディープステートの傘下にあることや、**世界の主要メディアや日本のメディアが全て、ディープステートの意向に従った報道しかしない** という実情を考慮しなくてはなりません。

プーチン大統領とトランプ大統領は、世界の政治、経済、医療を牛耳っているディープステートに対抗して、協力し合っています。トランプ派のホワイト米軍が実権を持っているので、バイデン政権の米軍がウクライナに派兵することはありません。

デクラスが始まれば、ウクライナ情勢の真実も明らかになってゆくことでしょう。

以下に、プーチン大統領とトランプ大統領の協力関係を証明する情報を掲載いたします。



バイデンが本当に大統領なら、なぜプーチンはトランプに電話をかけているのか？

By Michael Baxter -2022年2月16日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/blog-post_16.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/blog-post_16.html

犯罪者バイデン政権とそれに加担する情報機関はここ数か月、プーチンが事実かどうかは別にして、ロシアのウクライナ侵攻が差し迫っているというシナリオを煽り立てている。

バイデンか彼の二重人格のどちらかが、南の隣人を侵略した場合の影響、すなわち金融制裁についてプーチンに警告したと2度主張している。しかし、誰かが嘘をついている。

リアル・ロー・ニュースは、**プーチンがバイデンを米国の正当な指導者として認めていないため、バイデンの電話を拒否したことを示唆する証拠を発掘した。**

プーチンはバイデンの電話を拒否しただけでなく、政権の主要な敵であるドナルド・J・トランプに接触し、彼はフロリダの司令部からロシア・ウクライナ危機を活発に監視していると、マー・ア・ラゴの関係者がリアル・ロー・ニュースに語っている。

「彼らは過去30日間に3回話し、プーチンはそれぞれの通話を開始した」と、この情報筋は言った。

トランプとプーチンは友好的だが慎重な関係を保っていると、彼は付け加えた。

プーチンはトランプに、「私は偽物の指導者とは話さないが、あなたとは話す」と話したという。

プーチンは、バイデンの「犯罪政権」がロシアの分離主義者と共謀してウクライナで偽旗を演出し、受けた損害と失われた人命をロシアのせいにしてしているという信頼できる証拠と呼ばれるものについてのトランプの意見を求めていた。彼は、KGBの後継者であるFSBが、アンソニー・ブリンケン国務長官と国防長官が録音した音声テープを第三者から入手したと述べた。FSBは、アンソニー・ブリンケン国務長官とロイド・オースティン国防長官が、サイバー戦争の遂行からキエフのダウンタウンでの爆弾の爆発まで、あらゆることについて話し合った音声テープを第三者から入手したという。

トランプが当該音声テープのコピーを要求したところ、プーチンは、トランプの意図が分からない限り、現状ではテープを共有できないと渋った。

「もしそのテープが存在し、本当に本物なら、我々は大勝利だ。しかし、私は巨大な方法でそれらを必要とします。認証してもらわなければならない」とトランプはプーチンに言った。

「トランプはプーチンを信じたいが、彼が簡単にハツタリをかます可能性があることを知っている。

プーチンはプーチンの利益になることをする、そして彼は裏技を使うことはない。彼は元KGBだ。

だから、彼はギアをシフトした。彼は米軍の処分を知りたかったのだ」と、我々の情報筋は言った。

「トランプ大統領、米軍のかなりの部分があなたに忠誠を誓っていることは理解していますが、多くはまだこのジョセフ・バイデンという男を支持しています。バイデンが戦闘部隊に介入を命じた場合、言うなればどのように展開するのか不明だ」とプーチンは語った。

「プーチン大統領、私はあなたとそれを議論することはありません。しかし、私はあなたに何かを伝えることができます：私は偽旗の本当の証拠を持っている場合、そして唯一の場合、あなたはそれを心配する必要はありません。我が軍は、あなたの国との違法な戦争に突入することはないでしょう。しかし今、あなたは15万人の軍隊と戦車、膨大な数、これまでやったことがないような数を国境に置いている。

それはあなたの権利だが、あなたを見る人々は何が起こっているのかを知りたくなる」とトランプは言った。

プーチンは、軍備増強は偽旗事件で手を下さざるを得なくなった場合に備えた先見的なものだと主張し、ロシアは地域紛争を回避するためにあらゆる手段を講じているとトランプに約束した。

「もし戦争が起これば、歴史はロシアを侵略者として見ることはないだろう」とプーチンは付け加えた。

我々の情報筋によると、2回目と3回目の電話も同様で、プーチンは侵略計画を否定し、トランプは計画された偽旗攻撃の決定的な証拠を要求したという。



プーチンからトランプへ「あなたのメディアは嘘をつく！
これは侵略ではない」

By Michael Baxter -2022年2月24日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/blog-post_24.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/blog-post_24.html

ロシアの巡航ミサイルがウクライナ東部の標的を攻撃する数分前、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領はドナルド・J・トランプに緊急電話をかけ、自軍がウクライナ内の「テロリスト」の標的に対して「制御された攻撃」を開始したと、匿名を約束した上でマー・ア・ラゴ筋が語った。

プーチンはトランプに、ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領と西側諸国は、彼の「特殊な軍事行動」を帝国主義的な全面的侵略として描くために全力を尽くすだろう、と言ったという。

彼は、ウクライナ東部にあるイスラエルが資金提供するバイオラボが、"空気感染する狂犬病"を作り、兵器化する方法を研究していることを含め、"テロリスト"の**生物兵器施設がターゲット**であるとトランプに伝えたとされる。

「プーチンは木曜日の朝、再びトランプと話をした」と、情報筋は語った。

「あなたのメディアは嘘をついている。これは侵略ではない」とプーチンはトランプに言ったと伝えられている。西側の芝居は、簡単に証明できるとプーチンは言った。ウクライナ全土で「大爆発」があったとか、オデッサやマリウポリに大規模な水陸両用軍が上陸したとか、視覚的に検証可能な証拠はないという。

少なくとも、プーチンの主張を裏付ける証拠はある。ヘルメットと防弾チョッキを着用したFoxニュースのキャスターが、キエフでライブ中継をしていた。突然、キエフのどこかで「大爆発」と呼ばれる音を聞き、それを見てショックを受けたようだった。しかし、視聴者は爆発を聞くことも見ることもなかった。カメラマンも特派員からパンすることはなかった。

「これはすべて欺瞞だ、トランプ大統領。あなたにはあなたの(敵)ディープ・ステートがあり、私は私のものと戦わなければならない。 **占領はない**」とプーチンはトランプに言った。

この時点で、Real Raw Newsは、プーチンが完全な真実を語っているのかいないのかについて、何の主張もしていない。どんな紛争でも最初の段階では、プロパガンダがあふれている。

9、11(同時多発テロ)の共犯者として、ホワイト米軍の軍事法廷にかけられた、**ブッシュ元大統領**と首謀者として軍事法廷にかけられた**ディック・チェイニー**(当時は副大統領)の軍事法廷の詳細は、後日に掲載いたします。

ブッシュ元大統領は1月8日に、ディック・チェイニーは1月22日に絞首刑になりました。

軍事法廷では、なぜ、ブッシュ元大統領とディック・チェイニーが、6,700人(報道では2,977人)のタワー入居者や消防士を殺してまでしてツインタワーを崩壊させ、多くの米軍兵士を戦死させてまでしてアフガニスタンに侵攻したのかを、確かな押収資料を基にして尋問しています。